

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立阿倍野小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	阿倍野区
学 校 名	大阪市立阿倍野小学校
学 校 長 名	田中 保

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立阿倍野小学校では、第6学年 84名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立阿倍野小学校の結果概要

- 国語については、平均正答率が全国の平均正答率より0.9ポイント下回る結果となった。
- ・「話すこと・聞くこと」では、全国の平均正答率より4.3ポイント下回っていた。
 - ・「書くこと」では、全国の平均正答率より2.5ポイント上回っていた。
 - ・「読むこと」では、全国の平均正答率より1.6ポイント下回っていた。
- 算数については、平均正答率が全国の平均正答率より2.6ポイント上回る結果となった。
- ・「数と計算」では、全国の平均正答率より2.3ポイント上回っていた。
 - ・「図形」では、全国の平均正答率より1.6ポイント下回っていた。
 - ・「測定」では、全国の平均正答率より3.6ポイント上回っていた。
 - ・「変化と関係」では、全国の平均正答率より0.8ポイント上回っていた。
 - ・「データの活用」では、全国の平均正答率より4.1ポイント上回っていた。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】 成果：○， 課題：●

- 「知識及び技能」の領域の正答率は62.5%と、大阪府（公立）の60.1%や全国（公立）の62.0%を上回っている。特に、「2二」の選択問題において、考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができていた。
- 「思考・判断・表現力等」の領域の正答率は58.5%と、大阪府（公立）の58.6%や全国（公立）の60.1%を下回っている。特に、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることに課題が見られた。

【算数】 成果：○， 課題：●

- 「学習指導要領の領域」において、A「数と計算」の平均正答率が63.4%、C「測定」の平均正答率81.7%と、どちらも大阪府（公立）および全国（公立）を上回っており、計算力や数の概念理解が優れていることがわかる。
- 「学習指導要領の領域」のB「図形」において、直方体の箱の形を構成する面についての理解や直方体の体積の意味についての理解に課題が見られた。

質問調査より

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問には肯定的に回答する児童の割合が82.7%であり、全国よりも12.1%上回っていた。「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問には肯定的な回答が98.8%であり、全国よりも7.4%上回っていた。「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」の質問には「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答する児童の割合が76.6%であり、全国よりも7.8%上回っていた。「将来の夢や目標を持っていますか」の質問には肯定的に回答する児童の割合が86.4%であり、こちらも全国よりも4.6%上回っていた。

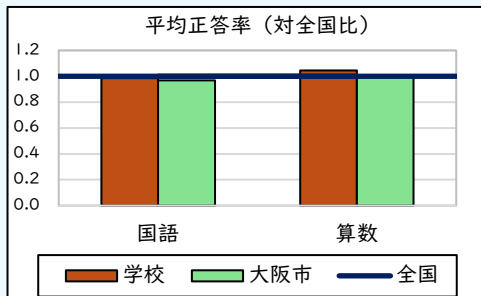
今後の取組（アクションプラン）

- 引き続き、基礎的・基本的な内容を確実に定着できるように、支援の工夫をしたり、ICT端末を効果的に活用したりしていく。
- 総合的な学習の時間や総合的読解力の取り組み等を活用して、資料から自分の考えを持つことができるようにするとともに、自分の考えを相手に伝わるように表現できるよう支援していく。
- 音読や漢字の学習を日常的に取り組み、更なる漢字の定着に力を入れたい。「書き慣れる」力もつけるために、短時間学習における視写指導も進めていく。
- 算数科では、今後も計算力や数の概念理解が確実に定着するように具体物・図・式を関連付けた段階的な指導、繰り返し学習を進めていく。また、具体物を操作する活動を通して、図形の特徴を捉え、視覚的・体験的に理解を深められるよう支援していく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

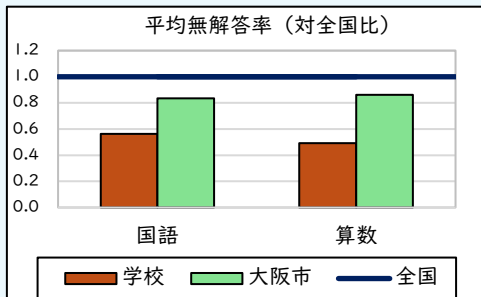
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	60	59
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



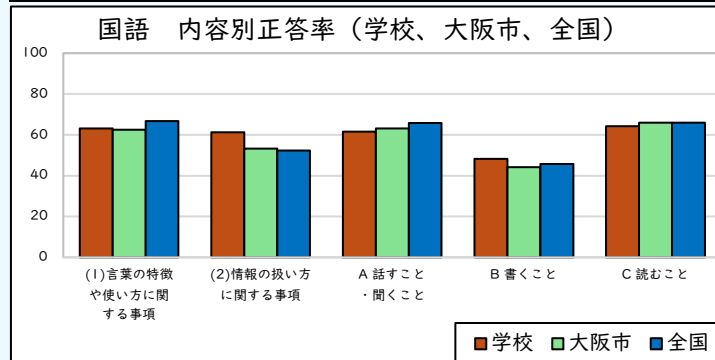
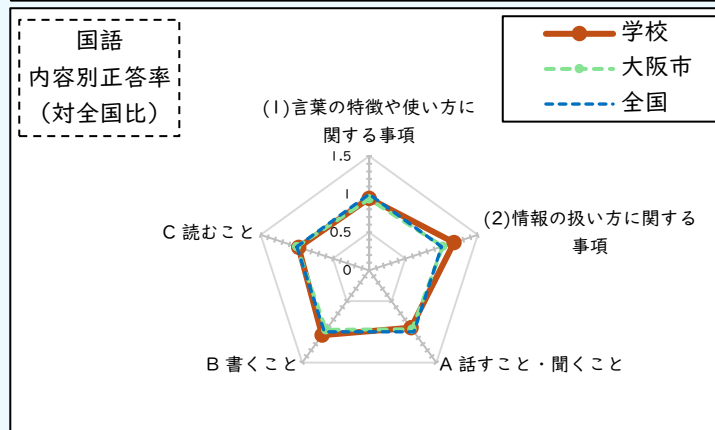
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.9	1.6
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



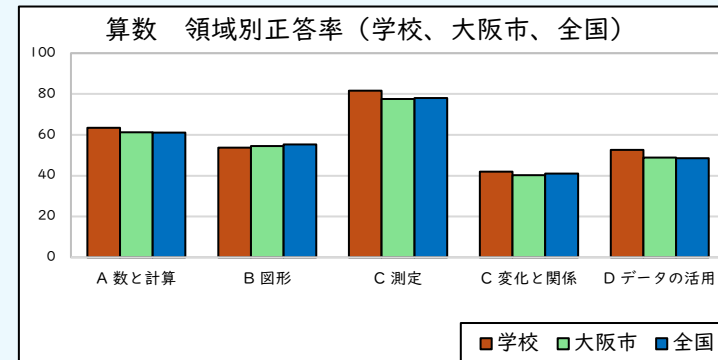
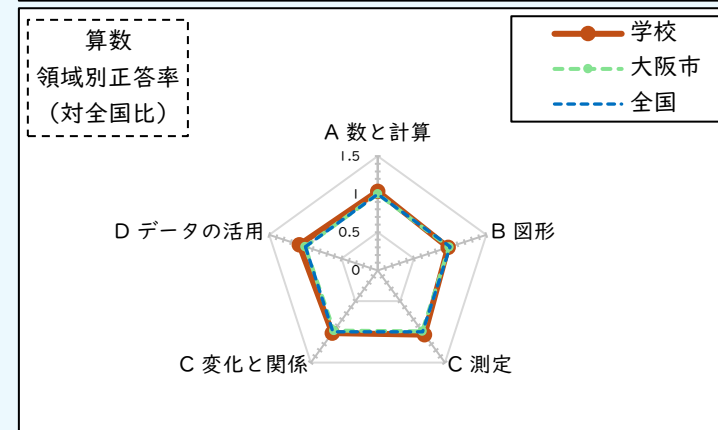
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	63.1	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	61.3	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	61.5	63.1	65.8
B 書くこと	2	48.2	44.2	45.7
C 読むこと	2	64.3	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	63.4	61.2	61.1
B 図形	4	53.7	54.5	55.3
C 測定	1	81.7	77.5	78.1
C 変化と関係	3	41.9	40.3	41.1
D データの活用	4	52.7	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

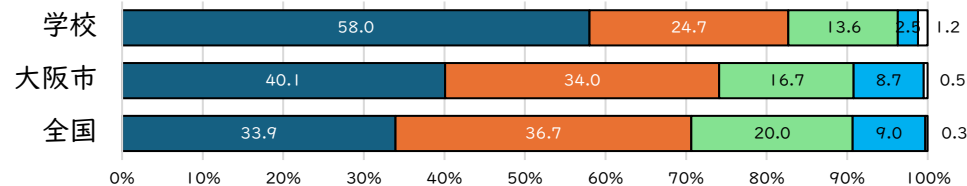
質問番号

質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(13)

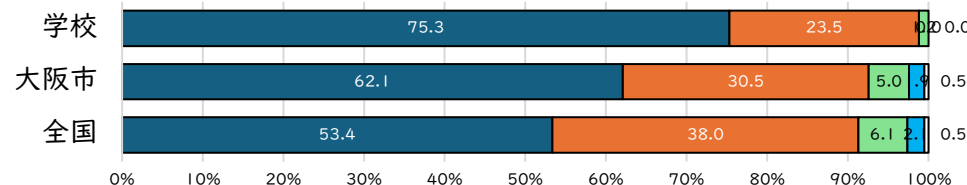
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(9)

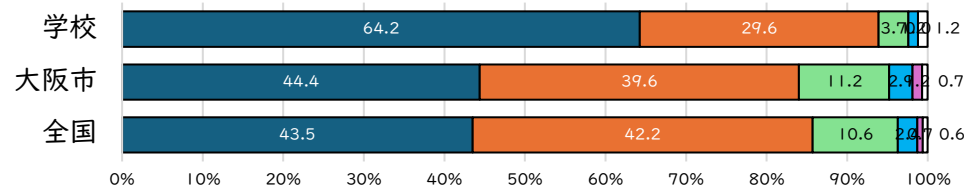
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(42)

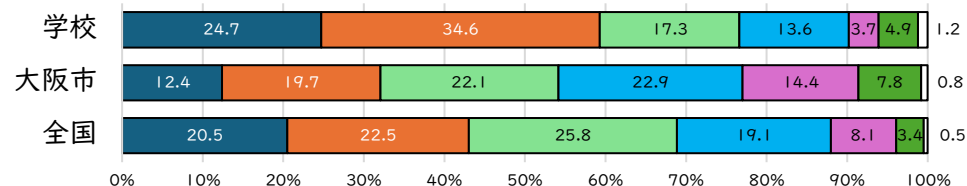
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

(35)

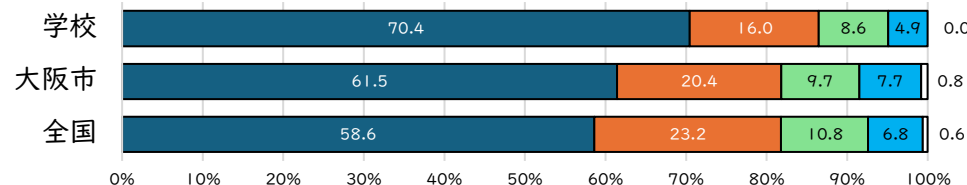
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



- 1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
- 2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
- 3 週3回以上
- 4 週1回以上
- 5 月1回以上
- 6 月1回未満

(10)

将来の夢や目標を持っていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

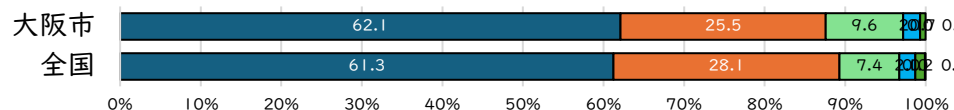
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(15)

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

【学校の回答】 1 週に1回程度、または、それ以上行った

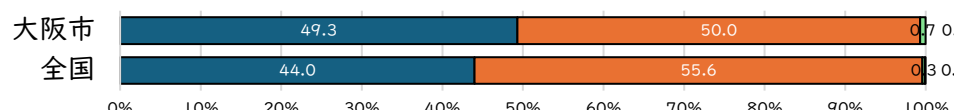


- 1 週に1回程度、または、それ以上行った
- 2 月に数回程度行った
- 3 学期に数回程度行った
- 4 年に数回程度行った
- 5 行わなかった
- 6 特に問題を抱えていなかった

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

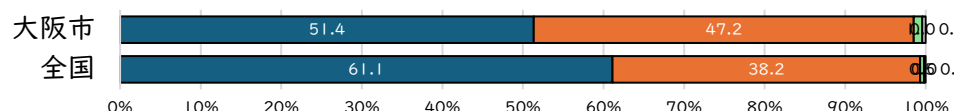


- 1 十分に取り入れている
- 2 一部取り入れている
- 3 全く取り入れていない

(19)

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

【学校の回答】 1 そう思う

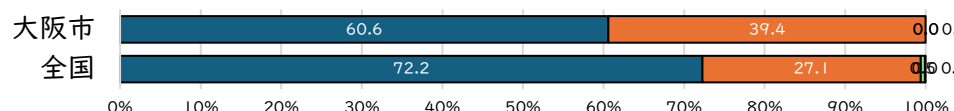


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(21)

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか

【学校の回答】 1 そう思う

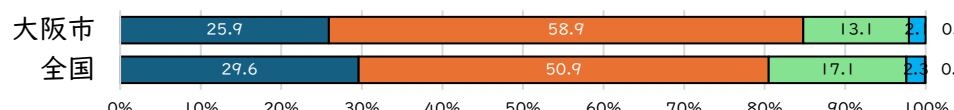


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(25)

教職員にとって、学校施設全体として、教職員が働きやすく、居心地のよい建物だと思いますか

【学校の回答】 1 そう思う



- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない